

科目名		授業形態	担当教員名	
システム工学演習		演習	日妻 晋二	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
医療分野で利用されるシステム工学を学び、その実践応用を理解する基礎的能力を養う。				
授業の到達目標				
システム工学で学んだ知識を用いて演習を行い、医療安全をシステムで考える方法を修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	システムとは			
2	ヒューマンエラーの分析方法（ハインリッヒの法則、フレームワーク、フレームワーク実践）			
3	病院内でのヒューマンエラー（ヒヤリハット事例と対策）			
4	危険予知トレーニング（レポート作成、発表）家庭でのKYT			
5	危険予知トレーニング（レポート作成、発表）事務系でのKYT			
6	危険予知トレーニング（レポート作成、発表）医療系でのKYT			
7	危険予知トレーニング実践			
8	まとめ			
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	100%	各テーマごとに行い、レポート提出とその内容を評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				